

実践記録（小6・学活）

1 ねらい

付箋紙を使い、対話的な学びとしての意見交流を行うことによって、新たな意見を自分の考えに取り入れ、自分の考えを深めることができるようにする。

2 手立て

自分の考えの変容を分かりやすくまとめるワークシートと意見交流シートを活用する。

<ワークシートの内容>

- ① 自分の立場を決め、その立場を選んだ理由を書く。
- ② 意見交流を行う。
- ③ 意見交流の中で心に残った意見を選び、自分の立場を見直す。
- ④ その立場を選んだ理由を書く。
- ⑤ 学習を振り返る。

<意見交流シートの内容>

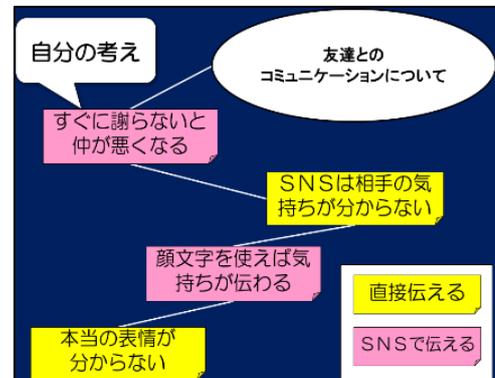
- ① 自分の考えを付箋紙に書いて貼る。（立場により付箋紙の色を変える。）
- ② 相手の付箋紙に対する意見を画用紙に貼る。
- ③ どの意見に対する考え方なのか分かるように、付箋紙同士を線で結ぶ。
- ④ 付箋紙に書き込む時間と、書かれた付箋紙を読んだり話したりする時間とを分ける。
- ⑤ ①～④を繰り返し行う。

【ワークシート】

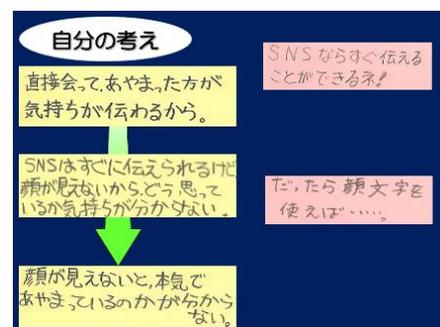
3 実践の様子

本実践では、自分の考えをもたせるために、「友達と口論をしたまま下校してしまった。謝りたいという気持ちをどうやって伝えるか」という視点を児童に与えた。その上で、「直接伝える」立場、「SNSですぐに伝える」立場を決めさせ、意見交流シートを用いた意見交流を行った。児童は、付箋紙を線でつなぎながら「文面で謝っていても、顔が笑っているかもしれない。」や「顔文字を使えば、表情と気持ちを伝えることができる。」など、付箋紙に書いた内容を基に、積極的な意見交流をしている姿を見ることができた。【資料A】心に残った友達の考えや感じ方を取り入れ、考えを見直した意見を見ると、交流前と変わらず「直接伝える」立場が多かったが、その内容には意見交流を踏まえた変化が見られた。

振り返りの感想には、「いろいろな意見を聞いて考えることができてよかった。」「みんなの意見を聞きながら、自分なりの答えにたどり着くことができてよかった。」などの感想が見られた。



【意見交流シートの活用の流れ】



【資料A】

4 成果と課題

- 自分や友達の考えを可視化して意見交流したことで、考えの流れを分かりやすくしたり、比較しやすくしたりすることができた。
- 交流後の意見に友達の意見や新たな考えが見られず、深まりが感じられなかった子どもも多かった。意見交流の進め方や課題設定について、見直していく必要があると感じた。